

群馬県立自然史博物館研究報告 投稿規定 (2010年10月28日改訂)

投稿内容

1 「群馬県立自然史博物館研究報告」の内容

本誌には、自然史およびそれに関連する分野の総説、原著論文、短報、資料、技術報告、雑報等その他編集委員会が適当と認めたものを掲載する。外部投稿者は群馬県または当館所蔵の標本と関連する内容が望ましい。

1-1 言語は日本語または英語とする。

1-2 原稿の種目は以下の通りとする。

総説 (Review)：自然史分野の論文や学説などを総括、解説、あるいは考察したもの。

原著論文 (Original Article)：オリジナルな研究論文で、未発表のもの。

短報 (Short Article)：短い論文、または新事実などの簡単な報告。

資料 (Data)：考察を加えない、生のデータ等。

技術報告 (Technical Report)：新しい技術の報告。

雑報 (Miscellaneous)：調査、研修、学会参加等の報告、資料目録、教育普及活動など。

その他：編集委員会が必要と認めたもの。

2 投稿の手続き

投稿者は、投稿規定に従って作成した原稿1部とコピー1部、投稿原稿送付票を、編集委員会に提出する。

3 受付

編集委員会が原稿を受け取った日を受付日とする。

4 受付後の原稿の処理

4-1 編集委員会は、受付時および査読修正返納時に原稿を審査し、掲載(受理)の可否を定める。

4-2 編集委員会は、受け付けた総説、原著論文および短報を外部査読にかける。査読の結果、著者に修正を求めることがある。修正を求められた原稿は2週間以内に編集委員会に返送することとする。指摘された箇所を修正しない場合は、その理由を付すこととする。

4-3 論文の受理は編集委員会が決める。編集委員会が掲載を決定した日付をもって論文の受理日とする。

4-4 編集委員会は、掲載適当と認めた原稿について、著者に受理を文章などで通知する。また、掲載不適当と認めた原稿について、その理由を明らかにした文章を付して著者に原稿を返却する。

4-5 受理後、投稿者は最終原稿が入力されている電子媒体(CD, DVD, 等)及び原図を編集委員会に提出する。

5 校正

5-1 著者校正は初校時のみ行い、再校以降は編集委員会の責任において行う。

5-2 著者校正時の加筆は原則として認めない。

5-3 著者は、初校ゲラを受け取ったら速やかに校正を行い、1週間以内に編集委員会に返送する。

6 別刷り

6-1 別刷りは、一編につき100部(表紙なし)を著者へ寄贈する。著者が連名の場合には、筆頭著者に寄贈することとする。

6-2 表紙をつける場合は、著者の実費負担とする。

6-3 100部を超える別刷りを希望する場合は、投稿時に50部単位で申し込むこととし、著者の実費負担とする。

7 原稿の返却

原則として掲載された原稿、図、図版、表などは返却しない。

執筆要項

1 原稿

- 1-1 A4版縦を使い、横書きとする。
- 1-2 印字は、和文の場合1行40文字×30行とし、行間、余白を十分にとる。句読点は「,」および「.」を使用する。英文の場合は、ダブルスペースで30行とする。
- 1-3 各ページの右上に著者名を入れる。
- 1-4 原稿は引用文献の最終ページまで通しページ番号をつける。

2 表題・著者名(1ページ目)

- 2-1 表題及びランニングタイトル(和文の場合20文字程度、英文の場合40文字程度)、著者名、所属とその所在地、Eメールアドレス等を明記し、論文責任者を明示する。
- 2-2 著者名の表記は下記の例にならない、共著の場合著者の右肩に所属を示す記号をつける。
(例)：阪東太郎¹・谷川岳史¹・板倉 潤²
BANDO Taro¹, TANIGAWA Takeshi¹ and ITAKURA Jun²

3 要旨・キーワード(2ページ目)

- 3-1 原著論文、短報、総説には、本文と異なる言語(日本語論文の場合は英語)で、内容を要約した要旨をつける。
- 3-2 表題、著者名および要旨、キーワードの順に書き、脚注に所属とその所在地を書く。
- 3-3 要旨の長さは、本文が日本語原稿の場合は400字以内、本文が英語原稿の場合は、300語以内とする。
- 3-4 一行で収まる範囲のキーワード(Key Words)を日本語と英語の両方でつける。
(例)キーワード：完新世、イノシシ、縄文時代、南関東地域、形態変異
Key Words: Holocene, wild pig, Jomon Period, Southern Kanto Region, morphological variation

4 本文(改ページ)

- 4-1 本文は原稿のページを改めて書き始める。
- 4-2 文章は現代かなづかい、常用漢字を用いる。ただし、固有名詞や慣用句はこの限りではない。
- 4-3 句読点、引用符、その他記号もすべて1字として1マスあてる。
- 4-4 英文原稿は適当な人の校閲を受けておく。
- 4-5 本文の構成は原則として、はじめに、資料(試料)、方法、結果(記載)、考察、謝辞、引用文献とする。大項目(はじめに、資料(試料)、方法、結果(記載)、考察、謝辞、引用文献)には番号をつけず、行の中央にそろえ、ゴシック体を使用する。大項目を整理する上で必要な中・小項目についても番号を設定せず、ゴシック体左揃えとする。なお、記載や検索のために項目の整理が必要な場合1>1-1>a>a-1の順位で記号を付与することができる。

5 図、表、図版

- 5-1 次の3種類にわけ、それぞれ番号をつける。
図(Fig.)：本文中に入れる図および写真。
表(Table)：本文中に入れる記号、文字、罫のみからなるもの。
図版(Plate)：独立のページとして印刷される写真。図版として示すべき十分な理由があり、かつ原図が鮮明なものに限る。
- 5-2 図、表、図版は本文とは別紙とし、挿入箇所を本文原稿の欄外に記入する。
- 5-3 原図はそのまま製版が可能なものとする。受理後の最終原稿は電子ファイルで提出できるが、印刷したものを必ず添付する。
- 5-4 資料に関する図や実物写真にはスケールを入れる。
- 5-5 各図表の右上に、著者名を入れる。
- 5-6 印刷後の図表及び図版は、モノクロを原則とする。
- 5-7 カラー製版をとまなう図もしくは図版の掲載を希望する場合には、投稿原稿提出時に編集委員会に申し出る。編集委員会はその可否を検討する。

6 キャプション (図表などの表題や説明文)

別紙にまとめて書く。

7 引用

7-1 引用文献は、文章末に一括して、下記の例にならい、著者のアルファベット順に並べる。同著者では年号順に並べ、同年代の場合には年号の後にa, b……をつけて区分する。文献名の略称は各分野の慣習に従う。

(例) 著者名 (出版年) : タイトル. 雑誌名, 巻 (号) : ページ.

米倉浩司・大橋広好 (2002) : ヒマラヤとその周辺地域のイブキトラノオ属 (タデ科) の分類学的検討 (2). 植物研究雑誌, 77 : 61-81.

Sarah, S.D. and Connaughay, K.D.M. (2002) : Interpreting phenotypic plasticity: the importance of ontogeny. *Plant Species Biology*, 17: 119-131.

Shizenshi, T. (2000) : Birds of Momizidaira-Park, Tomioka, Gunma Prefecture. *Bulletin of Gunma Museum of Natural History*, (4) : 51-59.

西村三郎 (1974) : 日本海の成立. 築地書館, 東京, 227pp.

Eisma, D. (1993) : *Suspended matter in the aquatic environment*. Springer-Verlag, Berlin, 315pp.

赤坂猛 (2006) : 鳥獣行政の歩み. 梶光一・宮本雅美・宇野裕之 (編) エゾシカの保全と管理. 北海道大学出版会, 札幌, p.191-198.

Jefferson, G. J. and Grice, P.V. (1998) : The conservation of lowland wet grassland in England. In Joice, C.B. and Wade, P.M. (eds.) *European wet grasslands*. John Wiley and Sons Ltd., Chichester, U.K., p.31-48.

7-2 本文中における引用文献の表記は例の通りとする。

(例)

(富岡・藤岡, 2002), (太田ほか, 2001), (Shibukawa and Numata, 2002)

著作権

群馬県立自然史博物館研究報告に掲載された論文の著作権 (著作財産権 (Copyright)) は、群馬県立自然史博物館に帰属する。

1-1 著作権の帰属について、著者は編集委員会に確認書を送付する。

投稿原稿送付票	
原稿種別 (該当するものを○で囲む) 総説・原著論文・短報・資料・技術報告・雑報	
著者名 (ふりがな)	
表題	
簡略表題 (20字以内)	
英文著者名	
英文表題	
原稿枚数 本文： 枚/付表： 枚/付図： 枚/写真： 枚 図の説明： 枚/英文抄録： 枚 フロッピー・ディスク (3.5インチのみ受付) 枚/MO・CD・DVDディスク 枚	
別刷希望枚数 (無料進呈の100部を除く) 合計 部 (費用は著者負担で、50部単位で申し込む)	
連絡先・校正刷送付先 (所属) 〒 - TEL:() - FAX:() - E-mail:	
自宅住所 (連絡先と同じ場合は記入の必要無し) 〒 - TEL:() - FAX:() - E-mail:	
*原稿受付日： 年 月 日	*原稿受理日： 年 月 日
*査読者 氏名 (ふりがな)： 所属住所：〒 - TEL:() - FAX:() - E-mail:	

註：*印は、編集委員会で記入する